

大学院看護学研究科 博士前期課程		授業 科目	理論看護学 Nursing Theory			担当 教員	石原 逸子（専任） グレッグ美鈴（専任）	
開講年次	1年次前期	単位数	2単位	科目 分類	専門科目 基盤看護学	授業形態	講義・演習	
選択必修	選 択	時間数	30時間			使用教室		
授業の目的及びねらい		<p>看護学の基本理論を歴史的に概観し、あわせて諸理論の構造と特徴を明らかにし、実践の科学としての看護学の特質を考察する。</p>						
授業のキーワード		<p>理論 概念モデル パラダイム 大理論 中範囲理論 状況特定理論</p>						
講義回数	授 業 内 容 及 び 計 画							
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 ～ 第15回	<p>1. 看護理論の発展：概念の理解と歴史的概観 2. 看護における知のパターン 3. 看護理論の分類 4. 理論のレベル 1) 大理論 2) 中範囲理論 3) 状況特定理論 5. 理論の目的 1) 記述理論 2) 規定理論 6. 看護理論開発の諸段階と評価 7. 選択した理論のプレゼンテーション ①理論の概要、②理論の評価、③研究・実践への適用可能性</p>							
参考文献		<p>Nicoll, L.H.(2004): Perspectives on nursing theory, 4th Ed.,Lippincott Williams & Wilkins. Parse, R.R.(1987): Nursing science: major paradigms, theories, and critiques, Saunders. Chinn,P.L.& Kramer,M.K.(1999):Theory and Nursing,5th Ed.,Mosby. Walker,L.O.& Avant,K.C.(2005):Strategies for Theory Construction in Nursing,4th Ed., Appleton & Lange. その他</p>						
成績評価の方法		<p>プレゼンテーションの内容（30％）、ディスカッションへの貢献（30％）、 最終レポート（40％）</p>						
教員から学生へのメッセージ		<p>皆さんの準備性・関心と積極性によって、内容を変更することもあります。抽象度の高い学習内容になりますが、出来るだけ皆さんの実践経験と結びつけて、一緒に学びを深めたいと思っています。</p>						